

会員各位

ほっかいどう同窓会事務局

## 北海道電力「石狩湾新港火力発電所」建設現場 見学会のご案内

北海道大学ほっかいどう同窓会では、同窓会活動の活性化事業の一環として、現在建設中の北海道電力「石狩湾新港火力発電所」建設現場の見学会を企画いたしました。石狩湾新港火力発電所は、北海道初となる大規模LNG（液化天然ガス）火力発電所です。建設中のこの機会で見学できない施設（含むLNGタンク）も見学出来ます。会員みなさんにぜひ参加されますようご案内申し上げます。

（なお、すでにお申込みいただいた方は今回手続きする必要はありません。）

### <見学会の概要>

- ・ 見学日時：9月21日（金）午後1時～5時（集合時間：12時45分）
- ・ 集合場所：北海道大学学術交流会館（N7W4 大学構内）前からバスで往復
- ・ 募集人員：先着30名
- ・ 参加費：無料



### <申込方法>

参加ご希望の方は、下記事項を記載の上、8月31日（第一次締切日）までにFAXまたはメールにてお申し込み下さい。

①お名前：

②所属先（学科・専攻名）：

③作業服上着サイズ： M、 L、 LL、 XL

④長靴サイズ： cm

（③と④は見学時に必要なため、選択・記入願います）

申込先：北海道大学 ほっかいどう同窓会事務局

FAX/TEL：011-747-7588

E-mail：hokudai-hc@general.hokudai.ac.jp

QRコードを携帯電話で読み込みますと⇒[メール作成画面はこちら](#)と記された画面が表示されます。上記項目を選択すると、必要事項が記入された申し込みメールが作成されます。ご活用下さい。



## <参考 1 : 石狩湾新港発電所の概要>

名称	石狩湾新港発電所
所在地	北海道小樽市銭函 5 丁目
原動力の種類	ガスタービンおよび汽力（コンバインドサイクル発電方式）
出力	合計 170.82 万 kW 1 号機 56.94 万 kW 2 号機 56.94 万 kW 3 号機 56.94 万 kW
燃料の種類	天然ガス
燃料の供給方法	北海道ガス（株）が運営する石狩 LNG 基地からガス導管を通じて供給
煙突	高さ 80m（3 筒身集合型）
復水器冷却方式	海水冷却方式
着工※2	1 号機 2015 年 8 月 2 号機 2023 年 3 月（予定） 3 号機 2027 年 3 月（予定）
営業運転開始（予定）	1 号機 2019 年 2 月 2 号機 2026 年 12 月 3 号機 2030 年 12 月

## <参考 2 : 石狩湾新港発電所の必要性>

石狩湾新港発電所 1 号機が運転を開始する予定の 2019 年までに、運転年数が 40 年を超える北電の火力発電設備（10 万 kW 以上）は、13 機中 6 機と、約半数程度になります。今後、経年化が進んで設備トラブルの増加が懸念されることから、中長期的には代替電源の確保などの対応が必要です。

石狩湾新港発電所は北電にとって初めての LNG 火力発電所ですが、現在の原子力や水力、石油、石炭などに新たに LNG が加わることで燃料の種類が多様化します。

現在確認されている天然ガスの埋蔵量は、可採年数で 55 年程度となっていますが、近年のシェールガス採掘技術の革新によって、今後可採量の増大が期待されます。また天然ガスは、石油と比べて世界各地に広く存在しているため、供給安定性に優れています。

（前頁の写真や上記の表や文章は、ほくでんホームページ資料より抜粋）